

## 1. 令和2年度 営業概況について

新型コロナウイルス感染症の世界的な流行により、当期のわが国経済は、非常に困難な状況に直面いたしました。経済活動は、徐々に持ち直しの動きがみられるものの、感染拡大防止のために人為的な抑制を余儀なくされ、これまでにない急激かつ大幅な景気後退を伴う厳しい状況となりました。

観光業界におきましても、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大に伴い、感染予防のため、インバウンドが消失し、国内でも不要不急の外出・移動の自粛やイベント開催の制限等により、観光需要は大きく減少し、深刻な事態に陥りました。

このような中、当期の立山黒部アルペンルートは、春の「雪の大谷ウォークイベント」を中止した上で、昨年同様、4月10日には富山側の立山駅～弥陀ヶ原間が部分開通し、4月15日には立山駅～信濃大町駅間が全線開通いたしました。しかしながら4月16日には政府による全国を対象とする緊急事態宣言が発令されたことを受けて、4月18日から6月18日までの2か月間、立山駅～扇沢間の営業を休止するという、未曾有の事態となりました。人の移動・往来が段階的に緩和されました6月19日から営業を再開するに当たり、関係機関と協議の上、「立山黒部アルペンルート安全・安心ガイドライン」を策定し、各乗り物の運行につきましては、乗車人員を定員よりも減員すると共に減便して営業時間を短縮するなど、新型コロナウイルスの感染拡大防止に努めながら、11月30日まで営業いたしました。

営業再開以降の推移を概観いたしますと、富山県からご支援いただき実施いたしました富山県民キャンペーンやG o T oトラベルキャンペーンの効果もあり、富山県や近隣県からの個人旅客において徐々に回復傾向があらわれました。10月1日からは東京都に居住する方の旅行を対象としてG o T oトラベルキャンペーンが拡充され、団体客も戻り始めましたが、春の2か月間に及ぶ休業が大きく影響し、入り込み客数を大きく落とすこととなりました。

旅客の内訳では、国内旅客については、7月の4連休以降、徐々に個人旅客が回復傾向となり、国内旅客全体の入り込み人員が229千人（前期比36%、414千人減）となりました。

一方、訪日旅客においては、感染症の世界的流行により、多くの国において、政府による入国制限や海外渡航禁止等の措置が講じられたこと等により、全世界的に旅行者の往来が大幅に減少しました。（入り込み人員が1千人、前期比0.3%、239千人減）

この結果、当期の入り込み人員は合計230千人（前期比26%、653千人減）という全線開業以来過去最低の入り込み人員となりました。また、入り込み方面別では、富山入り込みが104千人（前期比24%）、大町入り込みが126千人（前期比28%）となりました。

●アルペンルート入込人員実績					
(単位：人)	令和元年度		令和2年度		
	実績	前年比	実績	増減	前年比
入込合計	883,000	106%	230,000	△ 653,000	26%
富山入込	425,000	99%	104,000	△ 321,000	24%
大町入込	458,000	112%	126,000	△ 332,000	28%
<国内・訪日内訳>					
国内入込人員	643,000	107%	229,400	△ 413,600	36%
個人	483,000	109%	209,100	△ 273,900	43%
団体	160,000	104%	20,300	△ 139,700	13%
訪日入込人員	240,000	101%	600	△ 239,400	0%
※訪日入込人員は個人+団体の総数 ※表示単位未満を四捨五入により端数処理しているため、合計と一致しない場合がある。					
●ホテル宿泊人員実績（立山貴光ターミナル棟）					
(単位：人)	令和元年度		令和2年度		
	実績	前年比	実績	増減	前年比
ホテル立山	30,900	98%	7,200	△ 23,700	23%
弥陀ヶ原ホテル	16,600	110%	30	△ 16,570	0%
宇奈月国際ホテル	16,000	116%	10	△ 15,990	0%
※弥陀ヶ原ホテルは、令和2年4月18日より休館。 ※宇奈月国際ホテルは、令和2年4月20日より休館。					

## 2. 決算の概要について

### ●連結決算の概要

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、2か月間の営業休止が発生。  
国内及び訪日旅客数は共に大幅に減少し、減収減益となった。

(単位：百万円)

会社名	連結			立山黒部貫光(株)			立山貫光ターミナル(株)			立山黒部サービス(株)		
	R01年度 (百万円)	R02年度 (百万円)	前年度比 %	R01年度 (百万円)	R02年度 (百万円)	前年度比 %	R01年度 (百万円)	R02年度 (百万円)	前年度比 %	R01年度 (百万円)	R02年度 (百万円)	前年度比 %
営業収益												
運輸事業				3,553	794	22%						
ホテル事業							745	175	24%			
ホテル立山							403	0	0%			
弥陀ヶ原ホテル							288	0	0%			
宇奈月国際ホテル												
ホテル事業計							1,437	176	12%			
付帯事業				642	123	19%	1,191	433	36%	262	127	49%
営業収益計	6,606	1,259	19%	4,196	917	22%	2,629	609	23%	262	127	49%
営業費	6,888	4,325	63%	4,376	3,142	72%	2,756	1,456	53%	255	138	54%
営業利益(△は損失)	△ 282	△ 3,065	—	△ 180	△ 2,224	—	△ 126	△ 847	—	6	△ 10	—
営業外収益	52	271	514%	48	234	480%	10	45	454%	1	3	180%
営業外費用	36	63	174%	35	60	172%	1	7	520%	—	0	—
経常利益(△は損失)	△ 265	△ 2,858	—	△ 166	△ 2,050	—	△ 118	△ 809	—	8	△ 7	—
特別利益	10	16	150%	4	15	317%	6	0	—	—	1	—
特別損失	1,279	352	28%	1,264	926	73%	14	1	8%	—	—	—
税引前当期純利益 (△は損失)	△ 1,534	△ 3,194	—	△ 1,426	△ 2,962	—	△ 126	△ 810	—	8	△ 6	—
法人税、住民税及び事業税	12	8	67%	9	8	89%	1	1	100%	2	0	—
法人税等調整額	△ 163	684	—	△ 131	586	—	△ 31	97	—	0	0	—
当期純利益(△は損失)	△ 1,383	△ 3,887	—	△ 1,303	△ 3,556	—	△ 96	△ 909	—	5	△ 5	—
非支配株主に帰属する当期純利益 (△は損失)	△ 27	△ 263	—									
親会社株主に帰属する当期純利益 (△は損失)	△ 1,356	△ 3,624	—									
総資産	11,241	11,072	99%	9,906	10,180	103%	2,016	1,857	92%	291	332	114%
純資産	5,911	2,031	34%	5,625	2,071	37%	991	86	9%	201	196	97%

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨て処理しております。